

新潟市民ノーレジ袋運動宣言

～ 一人ひとりが できることから ～

地球温暖化やエネルギー資源の問題は年々深刻さを増し、新潟市においても平均気温の上昇が観測されています。また、海拔ゼロメートル地帯の多い本市は、異常気象による集中豪雨や高潮などの影響を受けやすい地域であることから、特に重大な危機に直面していると言えます。こうした影響を抑え、問題解決へと導くためには、私たち一人ひとりがこれまでの大量生産・大量消費・大量廃棄の生活スタイルを見直し、ごみの減量・資源化、省資源・省エネルギー型の「環境にやさしい生活」を実践していくことが重要です。

マイバッグなどを持参し、レジ袋をもらわないという取り組みは、私たちの日常生活の中ですぐにできる身近な環境保全行動です。全市にこの運動が広まればごみの排出量、製造時における資源の使用量並びに二酸化炭素排出量の削減が図られ、問題解決への大きな一歩となります。

市民は、マイバッグを利用するなどし、不要なレジ袋を辞退すること。

事業者は、無料配布の取り止めや再使用、軽量レジ袋使用などレジ袋削減の取り組みによりその使用枚数・量を抑制すること。

市民団体は、事業者や行政等と連携してノーレジ袋運動を広げること。

市は、市内全地域において、市民や事業者、市民団体と連携してノーレジ袋運動を推進すること。

など、それぞれの役割と責任のもとで連携・協働してレジ袋の削減に取り組みます。

水と土のふるさと新潟の良好な環境を未来へと引き継ぐために、新潟県レジ袋削減県民運動に参加し、次の取り組みを行うことをここに宣言します。

ごみ減量化・資源化協力店等事業者や消費者団体等市民団体との意見交換の場を設け、連携・協力してノーレジ袋運動を積極的に推進します。

不要なレジ袋削減のために、3R（発生抑制・再使用・再利用）を推進し、マイバッグ持参などを通じて環境にやさしい買い物を心がけていただくよう広く市民に呼びかけます。

平成21年3月30日

新潟市長 篠田 昭